

(特活) バングラデシュと手をつなぐ会

事業名： ションダニ・スクールの衛生環境の整備

添付書類

- ① バングラデシュと手をつなぐ会による報告書（ションダニの報告書に基づいて）
- ② 全ての領収書（ベンガル語・英語）
- ③ 現地新聞の記事（ベンガル語・日本語訳）
- ④ 写真 添付ファイルで送信
- ⑤ 2011年現地訪問報告書 1部 11ページ
- ⑥ バングラデシュと手をつなぐ会のホームページにも記載する予定。
- ⑦ バングラデシュと手をつなぐ会による外国送金依頼書兼告知書 西日本シティ銀行
- ⑧ ションダニ ションスタによる現地のジャナタバンク発行の領収書

# 最終報告書

## 1. 事業最終報告

### (1) 実施団体の概要

- ① 名 称 特定非営利活動法人 バングラデシュと手をつなぐ会
- ② 代表者 二ノ坂 保喜
- ③ 住 所 〒814-0014 福岡市早良区西新5-4-20
- ④ 電話番号/メールアドレス 080-5219-1142 r.mokhlesur@gmail.com
- ⑤ 助成事業の担当責任者 ラフマン モクレスール

### (2) 事業の概要

- ① 名 称 ションドニ・スクールの衛生環境の整備
- ② 対象地 (村名まで記載、地図を添付のこと)
- ③ 目 的

1. ションドニ・スクールの中・高校生 (第9学年から第12学年まで) が天候に左右されず安心してトイレを使えるようになること。
2. 男女別のトイレを設置することで、思春期の生徒でも異性の目を気にしてトイレを我慢したりすることがなくなり、精神的・身体的苦痛を排除できること。
3. トイレや洗面所の設置と衛生指導により、トイレの正しい使い方や重要性を知り、トイレ後の手洗いの習慣や歯磨きの習慣を身につけさせることができること。
4. またそのことが社会全体に広がり、衛生教育に関し概して意識の低いバングラデシュにおいて意識の向上につながること。

### ④ 内 容

現校舎の西側の壁に接して3階建ての鉄筋コンクリートのトイレ建設

1階と3階 男子トイレ: 便器8個、洗面台8台、ミラー8枚、清掃道具入れ倉庫

2階 女子トイレ: 便器4個、洗面台4台、ミラー4枚、清掃道具入れ倉庫

トイレ用のドア12つ 窓2つ

公共水道設備がないため自家発電機1台や水タンク1個購入

⑤ 貴団体现地事務所、または現地カウンターパート団体（現地事務所がない場合）

貴団体现地事務所                       現地カウンターパート団体

名称： ションダニ ションスタ

代表者名：Md. Fazlul Hoq

住所： Vill & P.O. Karamdi P.S Gangni Dist Meherpur Bangladesh

電話番号/メールアドレス：880-171-2014-0465 zafor@shandhani.org

(3) 事業の振り返り

① 事業の結果（計画時の事業の目的や達成目標の指標、裨益予定人数、実施スケジュールなどと照らし合わせて具体的に記述）

中高生や職員はトイレが完成するまで校舎から離れた場所にあった仮設トイレを使った。衛生面でも良くなかったし、特に雨の日に生徒たちは雨に濡れながらトイレに行くより我慢していた。また男女のトイレが一か所にあり、お互いに気を使いながらトイレを使っていた。いまトイレが完成し、生徒たちは気持ちよくトイレを使うことによって健康面でも良いし、衛生に対して知識も少しずつ高くなっている。このことは生徒の家庭環境にも影響する。学校で学んだことは家庭へ持ち帰り、また将来、いまの生徒たちは親になるときにきっと学校で身につけたことが役に立つと思う。

またトイレに石鹸が用意してあるので、生徒たちはトイレを使用後に手洗い習慣を身につけている。

生徒・教職員合わせて600人以上は本プロジェクトの対象となり、その数はますます増加している。また学校行事の時に人数が2,000人以上になることもある。

実施スケジュールと実施状態

2011年4月：貴基金から助成金交付決定通知を受け、直ちに現地NGOションダニ・ションスタへ連絡、現地で校長を事務局長とし、5名で構成されるプロジェクト実施委員会を 発足

5月：当会から資金協力の承認書をションダニ・ションスタへ送付

ションダニ・ションスタは外貨を受け取りに必要なとされる許可を得るためにバン  
グラデシュ政府NGO局へ申請

6月： 建築業者と相談しながら必要な材料を用意、基層工事開始

7月： 手をつなぐ会からションダニ・ションスタへ送金

- 8月： バングラデシュと手をつなぐ会の9人のメンバーは現地を訪問し、建築進行状況を確認、生徒や教職員との意見交換を行った
- 10月： 骨組み工事完了
- 11月： 内部工事、トイレの便器の設置、手洗い場などの工事
- 12月： トイレ工事完了、使用開始

② 事業結果についての評価（所感、および反省点など）

（イ） 成功したと判断する点、その理由

事業計画通り工事が完了し、生徒や教職員達は天気によらず気持ちよくトイレを使っている。また生徒たちは昼食後、歯を磨く習慣を身につけようとしている。

階ごとに男女別にトイレができていたので、特に女子生徒は男子生徒を気にせず自由にトイレを使っている。以前、仮設トイレが校舎の外側にあったこととトイレの数が少なかったために不便が多かった。それらの問題が解決され、衛生的な環境が作られている。

うまくいかなかった点

今井基金から2011年3月末日に助成金の通知を受け、また資金も早い段階で受け取ったが、当会からその資金を現地NGOに送金するのが7月になってしまった。そのために建築工事開始が遅れていた。実は、バングラデシュのNGOは海外から支援を受ける際、バングラデシュ政府のNGO局から許可をもらわなければならない。許可されないと外国の支援が受けられない。現地NGOは手をつなぐ会からの送金を待たないで地域の業者から後払いの契約で建築材料を購入し、6月に工事を開始した。

③ 本計画の中長期展望（計画）

トイレの正しい使い方について徹底させ、生徒たちが自発的にトイレを掃除し、清潔を保てる教育を継続的に行う。生徒は学校で学んだことを家に持ち帰り、家族全員で衛生的生活ができるようになる。現在、校舎の1階と3階に男子トイレ、2階に女子トイレが建設されている。将来、各階に男女別のトイレの建設を目指し、生徒たちは安全・安心してトイレを使える環境を作りたい。

## 会計報告

（1）会計概要

① 本事業に関わる収入総額：	<u>1,684,786</u> 円
今井記念海外協力基金助成金額：	<u>990,000</u> 円)

② 本事業に関わる支出総額： 1,663,235 円

(今井記念海外協力基金助成充当額： 990,000 円)

(2) 収入

(単位：円)

収 入		
資金提供団体	金 額	使途 (経費内訳)
今井記念海外協力基金助成金	990,000	990,000
自己資金合計	694,786	694,786
シヨンダニ・シヨンスタ	194,786	194,786
バングラデシュと手をつなぐ会	500,000	500,000
合 計 額	1,684,786	

(3) 支出

\* 各項目別の支出一覧 (エクセル利用可)、および領収書のコピーを添付して下さい。

(単位：円)

項 目	今井記念海外協力基金助成金額	支 出 実 績	
		支払合計金額	今井基金助成金充当額
I. 直接事業費 (項目ごとに記載)			
土木工事	985,500	1,021,573	985,500
衛生陶器関係	0	199,925	0
電気関係	0	42,237	0
小計I	985,500	1,263,735	985,500
II. 事務管理費 (項目ごとに記載)	自己資金		
工事監督職員の手当	0	72,000	
事務諸経費	0	27,500	
事業視察用の航空券2人分	0	300,000	
銀行送金手数料	4,500		4,500
小計II	0	399,500	
合計 (I+II)	990,000	1,663,235	990,000

(\* 予算項目にあわせて記載してください。)

自家発電機を購入予定だったが、予算が足りなく、購入を見送りしている。資金を確保次第、購入する予定  
貴基金から99万円の助成交付金をいただいたが、その中から銀行送金手数料として4,500円を計上している。

領収書の内容

番号	項目	個数	レート	合計 タカ
1	レンガ	34,000	5.52	187500
2	セメント	422袋	370	156140
3	鉄筋	3845kg	52	199940
4	釘	92kg	80	7360
5	ワイアー			9500
6	砂	2750cft	23	63250
7	砂投入	700cft	8	5600
8	グリル	6		19972
9	賃金（建設工事）			259454
10	衛生陶器関係製品			185459
11	レンガ砕き			4100
12	電気関係			8346
13	電気工事費			30835
14	床用のタイル	571	30	17130
15	タイル設置人件費			5710
16	ペイント			12000
	合計		1 タカ=1.078円	1172296 タカ 1263735 円

新聞記事 新聞の名前：ショモエル カゴジュ 2011年11月14日発行

シONDANI スクールにおけるトイレ建設と飲料水の供給

バングラデシュのほとんどの教育機関には衛生的かつ清潔なトイレはないと言っても過言ではない。シONDANI・スクールもその例外ではない。今年バングラデシュと手をつなぐ会の協力で、また今井記念海外協力基金の助成金によってシONDANI・スクールは学校の衛生環境整備としてトイレを建設した。このプロジェクトによって、学校の教員、職員や約1000人生徒は衛生基準に満たしたトイレを利用することや飲料水を手に入れることができた。学校関係者はもちろん、地域住民は助成基金に対して心から感謝している。またトイレの入り口に今井基金のプレックがはまっているので、これからずっと利用者は感謝の気持ちを忘れられないだろう。



排水工事



トイレの入り口に今井基金の名前が刻めてある



排水工事





三階までの工事



2011年夏、現地訪問の際にとった写真 工事がどんどん進んでいる



トイレの中の写真



男子生徒は手洗いを使っている



2011年8月 バングラデシュと手をつなぐ会の代表二ノ坂と作品コンクールで優勝した学校の生徒たち



二ノ坂代表より表彰状を受け取る生徒たち